



私の小径

色あせることのない思い出を胸に、
心休まる場所で穏やかな時間が流れていきます。

菅原 仲子 さん 昭和8年生まれ 83歳 / 北海道樺太出身



「お嫁にもらってくれてありがとう。」亀夫さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

菅原仲子さんは「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」に入居しています。
仲子さんは樺太で5人兄弟の長女として生まれましたが、戦争が激化したため女学校を中退し、引き上げ船で家族と一緒に、むつ市並川町に引越してきました。
むつ市では製材所で働き、22歳で結婚、夫の亀夫さんとは友人と大湊の水源地公園で花見をしていた時に出会いました。結婚後は3人の子どもに恵まれ、海上自衛隊員だった亀夫さんの転勤と一緒に、むつ市に戻ってきて家を建てました。

子ども達が一人立ちしてからは亀夫さんと二人暮らしでしたが、1997年、亀夫さんが脳出血のため右半身麻痺となり、仲子さんが一人で懸命に介護を続けるも5年後に他界、以降は一人暮らしとなりました。
もともと膝が悪く通院をしていた仲子さんですが、2012年に玄関前で転倒してしまふ事故がありました。腰を強打したことで立ち上がれず、倒れていたところを市内に住む長女が発見してくれました。
その後、歩行が困難になり一人で生活することが難しくなってきたことから、城ヶ沢にあった「城ヶ沢みちのく荘シヨートステイ」を利用、今暮らししている「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」には、2013年の開設に伴い入居しました。
一時は体力の低下のせいから、ご飯を受け付けない状態になった仲子さん。栄養補助食品で何とか栄養を摂りつつ、好きな物から少しずつ食べるようにし、面会に訪れた家族も食事の介助を手伝ってくれたことで、また元気を取り戻すことができました。
「一人だとも出来なから助けてもらって良かった。職員の皆さんにも優しくしてもらえるから幸せだ。」
仲子さんの現在の楽しみは美味いお菓子や、大好きなケンタッキーフライドチキンを食べることです。
時折、市内に住む長女や孫が面会に来てくれます。面会時には買ってきもらったケンタッキーフライドチキンを食べながら、亀夫さんの思い出話を花を咲かせます。
「夫のことは死んでも忘れられない。家族思いで、どこへ行くにも家族と一緒にだった。うちの夫は本当に良い人だったのよ。」
居室にある、自宅よりもつきた亀夫さんの仏壇にお菓子を供えながら、健康で長生きができるように祈ることが仲子さんの日課です。
亀夫さんに思いを馳せ、家族の面会を待ちながら穏やかな日常を楽しみます。
記 / 北川 夕紀

介護人材養成コースに、日本人学生が訪問!

7月25日、ベトナム / 介護人材養成コース(フエ事業所)に、兵庫県立兵庫高校の未来創造コースの学生20名が訪問してくれました。

兵庫高校の未来創造コースは、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール」に指定されているクラスです。



介護人材養成コースの学生と同年代です。

介護人材育成コースでは、普段から日本人との日本語でのコミュニケーション能力の向上を目標にした日本語の授業や、フエ市を訪問する日本の学生・現地在住の日本人の方とのコミュニケーションの時間を授業に取り入れています。

この日も介護人材育成コースの生徒たちは、ベトナムの食文化、衣服、交通事情、結婚式などについてを、兵庫高校の高校生に日本語で説明し、日頃の勉強の成果を披露しました。

その後、グループに分かれ、高校生たちと日本語を使い日本の「良い所」「悪い所」についてのディスカッションを行いました。



言葉を上手に使えなくても、写真やインターネットを駆使して、何とか思いを伝えたい・相手のことを理解したいという、若いエネルギーが溢れる時間でした。

シンチャオ!!(ベトナム語で「こんにちは」の意味)10月に入り、これから本格的な雨季に突入するベトナム・フエ市。雨の降る日が続く中、洪水になるときもあります。今回のベトナム滞在記は、10月5日に行われた、介護人材養成コース第1期卒業式と第2期生開講式の様子をお伝えします。
式典は、当法人から中山辰巳専務理事 外関係者、ベトナムからフエ市日越交流友好協会副会長をはじめ、省・市の来賓の方が見られる中、22名の卒業生と17名の新たな生徒が一堂に会して行われました。
フエ市立医科大学のカオ・ゴック・タン学長より「ベトナムには、『大いなる山の頂上までも、平地での第一歩が重要』という諺がありますが、介護人材を育成するという共通の目的を、まずは第1期生の卒業という形で達成できたのは、偉大なる第一歩を踏み出したことの証です。ベトナムの先人たちが国の独立をする際に日本で学んでベトナムに持ち帰ってきたように、このコースで学ぶ生徒たちも、日本で介護の技術と知識と経験を身につけて、将来ベトナムに還元してもらいたい。」とお祝いの言葉をいただきました。
また、卒業生を代表してクラス長のオアンさんが「辛い時期もありましたが、仲間が励まし合っていたからこそ1年間を過ごせたことは、私の大きな誇りです。これからもお互いに切磋琢磨しあいながら介護福祉士を目指しましょう。」と挨拶をしました。
22名の卒業生は、EPAベトナム第5陣や、今年中に決定する予定の技能実習制度(介護分野)での来日へ向け、フエ中央病院でアルバイトをしたり、日本語能力試験N3レベルの学習を続けながら、一日でも早い日本の就労機会を心待ちにしています。
(記 / フエ事業所・向井正大)



卒業を迎え、新たなスタート地点に立った第1期生たちです。

★ シンチャオ!ベトナム滞在記 第1期生の卒業式と、第2期生の開講式

やさしい街づくりを応援しています。

新型 セレナ

8月24日 デビュー

株式会社 むつ日産

むつ市大字田名部字津川 / 内線110-4 TEL. 0175-22-2284

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 ニツシヨク NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話 (0175) 22-7222
FAX (0175) 22-7081

商用利用可...リースナブルな料金...駐車場...
探していませんか?
貸会議室

下北文化会館にお任せください

6つの便利 ①18種類のお部屋 ②無料駐車場完備
③コピー・FAXサービス ④ケータリングサービス
⑤事務用品無料貸出 ⑥サークル活動、余興練習にも
お手続きカンタン!手ぶらでOK!

お問い合わせ・ご予約 ●受付時間 火~日 9:00~17:30
下北文化会館 ☎22-8411 ☎22-8414

私はグエン・ティ・ゴック・アインと言います。フエの事務所で翻訳職員として働いています。殆ど日本語が分からない生徒のために、日本人の先生が教える内容を日本語からベトナム語に通訳をしたり文書を翻訳するのが私の仕事です。

私は、面接で「介護」について聞いたとき、初めは介護は高齢者の病気を治したり、老人ホームで病弱な高齢者を世話したりする仕事だと思いましたが、でも翻訳職員として働く中で、私が思っていたことが違っていると分かってきました。

日本には、看護と介護があり、それぞれにしかもっていない知識があつて役割も違います。

看護は医師の助手や注射、点滴、病棟の見回りなど療養のお世話が中心。介護は主に生活の中で人の助けを必要としている高齢者や障害者に対し介助を行う。このような知識を持って働いてきました。けれど、実際の現場はどういう風か全然見たことが無いので、上司にお願いして8月の1カ月間、みちのく荘に研修に来ました。

研修は色々勉強になりました。介護の仕事は私が思っていたより難しく大変でした。一番印象に残った研修場所は、一番長く研修をした「特別養護老人ホームみちのく荘」です。毎日食事介助



一月間の研修のおかげで、自分の知識を更に深めて、日本式の介護を介護人材養成コースの生徒に分かりやすく伝えることができるようになったと思います。

や排せつ介助などがありますが、職員の方々は一生懸命介護をされていて、困難な場面でも平気な顔で、さらに笑顔で介護をされていました。その上、皆さんは自分の親のように利用者を愛して、世話しているよつでした。

近い将来にはベトナムに介護技術だけじゃなくて、日本のおもてなしの文化も広まるという望んでいます。研修で理解できた介護技術、また、さわやかな対応や基本的な心得など日本人の働き方を、これから通訳、翻訳という私のフエでの仕事に役立てます。

「本物の介護現場を見学して」

ベトナム/フエ事業所の翻訳職員、グエン・ティ・ゴック・アインさんが、みちのく荘で「本物の介護現場」を勉強しました。その研修の感想をお伝えします。

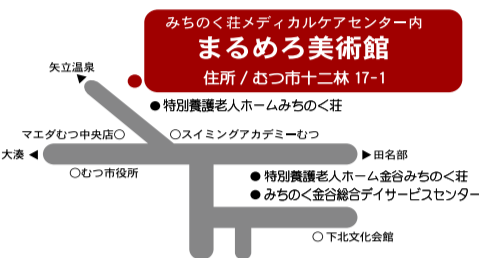


十和田湖(1935年)/野沢如洋

関野準一郎記念
まるめろ美術館ご案内

水墨画展 ~山水画の達人 野沢如洋の世界~
同時開催【関野準一郎 京都の街並】

期間/2016年9月30日~2017年1月31日
開館時間/10:00~16:00
休館日/水曜・木曜・日曜・祝日・年末年始



まるめろ公文書館

シリーズ⑦ 認知症の呼び方について

今では「認知症」という呼び方が一般化されていますが、「痴呆症」から「認知症」に呼称が変更されたのは2005年からです。当時は「ぼけ」や「痴呆」という呼び方がほとんどでしたが、実はこの呼称の変更については、少なからず当法人との関わりがありました。

当法人は財団法人日本生命財団から助成を受け2000年~2003年の3年間「高齢社会福祉先駆的的事业」を行いました。事業終了後の2003年8月30日、東京の日生劇場で開催された「2003ニッセイ財団シンポジウム」における実践報告の中で、当法人の中山辰巳専務理事は、この事業の推進母体であるワーキンググループの一員である市民代表から、「痴呆という言葉に強い抵抗感がある。漢字の字面によって差別感が生まれやすいと思われるし、人間の尊厳を大事にすることが介護の基本であると認識しているはずの福祉関係者が何の抵抗もなくこの言葉を使っている感覚も疑問だ」という意見が述べられたエピソードを伝え、「痴呆」という言葉の見直しを強く訴えました。

その会場には、シンポジウムの後援者として厚生労働省関係者も出席しており、結果的に2004年12月に厚生労働省の「痴呆に替わる用語に関する検討会」において「痴呆症」から「認知症」への言い換えの提言が行われました。

そして、まず行政分野および高齢者介護分野における「痴呆」の語が廃止され「認知症」に置き換えられ、その後、各医学会においても2007年頃までには、ほぼ言い換えが行われました。

「痴呆症」から「認知症」への呼称変更の大きなキッカケとなったことから、歴史的意味合いの深いシンポジウムとなりました。

左/高齢社会福祉先駆的的事业の報告書
右/2003ニッセイ財団シンポジウム記録書

みちのく金谷デイサービスセンター

いちおし!! プログラム②

みちのく金谷デイサービスセンターでは、「自分磨き」をテーマに、自立支援に力を入れていきます。このシリーズでは、みちのく金谷デイサービスセンターのさまざまなアクティビティのプログラムを紹介いたします。

第2回 料理教室

料理教室は数あるプログラムの中でも人気が高いプログラムのひとつです。教室の定員は一回8名、毎日午後1時に開催しています。参加費は400円~500円ほどで、講師は職員が務めます。

講師の中には今年春に高校を卒業した若い職員もいます。そういった料理経験の浅い職員が担当する場合は、立場が逆転して経験豊富な利用者が講師のようになり、職員に教えている姿も見受けられます。

料理教室の参加者には、家に帰ってもすぐに作れるように、簡潔で分かりやすい手作りレシピを配布しています。「レシピのおかげで、料理のレパートリーが増えた」「料理教室に参加するのが私のデイサービスでの楽しみ」「デイサービスでデザート作りを覚えて、孫に作ってあげているのよ」など、毎回好評を得ている料理教室です。

みちのく金谷デイサービスセンターでは1日体験を実施しています。自宅までの送迎付きです。お気軽にお問い合わせください。

電話/0175(23)0771
担当/玉谷

第2回「みちのく荘子どもさんかん日」報告!!

2016年8月10日、第2回みちのく荘子どもさんかん日を実施しました。「みちのく荘子どもさんかん日」は、当法人で働く職員の子ども(対象・小学生・中学生)が、お父さんお母さんの仕事ぶり見学したり介護を体験することで、高齢者福祉や介護を知る、学ぶ企画です。

参加した子どもたちは、利用者の住まいである共同スペース・お部屋、設備を見学しながら、自分のお父さんお母さんがどこで働いているかを探します。

ちょうど夏祭りイベントをやっていた「みちのく金谷デイサービスセンター」の見学では、利用者と一緒に盆踊りを踊りました。最新介護機器の体験では、最初は恥ずかしかったり、怖がっていた子どももいましたが、最後にはみんな楽しい経験になったよつです。

普段なかなか触れることのない介護の世界。珍しい設備や機械に興味津々です。

料理のメニューは週ごとに変わり、和食、洋食、中華、デザートなど様々です。メニューを考案する際は、魚好きの方、肉好きの方、双方のバランスを取りながら、かつ季節の食材を取り入れたメニューにするよつ心掛けています。

かぼちゃのころころミニドーナツ。豆腐が入っていてモチモチ食感が楽しめます。

ENEOSグローブエナジー株式会社

URL http://eg-energy.jp/

むつ支店: むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

谷川環境衛生開発(株)

代表取締役社長 谷川 聡

本社: むつ市新町 41-1
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修

株式会社 シルバーサービス

〒035-0033 むつ市横迎町 2-9-13
TEL 0175-22-9511

日本語を教えてくれる方を募集しています!!

当法人に勤務している、外国人介護福祉士候補生(インドネシア人・ベトナム人)の日本語学習の講師を募集しています。

外国人介護福祉士候補生たちは、日常会話程度の日本語を話すことができます。興味がある方はお問い合わせ下さい。

- 募集人数/1名(年齢不問)
- 講師料/あり(詳細はお問い合わせ下さい)
- 学習日/毎週金曜日
- 場所/特別養護老人ホームみちのく荘
- 必要資格/国語の教諭免許(中学校・高等学校)でも可

お問い合わせ先
特別養護老人ホームみちのく荘
担当/片谷
電話/0175(23)1600